

国語（言語文化）

履修単位	3単位	学 年	1年
学科コース	商業科	区 分	必修
使用教科書	高等学校 新編言語文化（第一学習社）		
副教材等	常用漢字 ダブルクリア 四訂版（尚文出版）		

1. 科目を通じた学習内容と学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

- ・ 授業の最初に毎時間、漢字の小テストを行います。小テストは必ず予習をして挑みましょう。自分の知識を積み重ねることや学習習慣を身に付けることにつながります。
- ・ (予習)授業を受ける前は、毎時間、教科書を読んでおきましょう。その際、声に出して読むと苦手な漢字や分からない語句がでてきますので、その都度マークしながら、辞書などを用いて調べノートに記述しておくことで、授業にスムーズに入ることができます。
- ・ (授業)言語文化の授業とは、教材と一緒に読みながら、クラスメートや先生とともにさまざまなことを感じたり考えたりする時間です。自分の思考等を恐れずに積極的に言葉にしましょう。
- ・ (復習)授業を受けた後、分からなかったり気づいたりしたことはノートに再度、記述しておきましょう。そして次回、必ず質問などをして聞き、分からないままにしないでおくことが大切です。授業の中で気づいたこと(感動したこと)は、さらに自分の知識を深めることができる大切なポイントです。インターネットや図書館などを用いて、関連する論文や書籍を読むとともに、自分で調べたものをクラスの仲間や先生に伝えることも理解を深めるうえでとても大切です。
- ・ 日頃から読書をする習慣を身に付けましょう。さまざまな本を読むことで、自分の考えや思いを広げたり深めたりすることができます。

3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法	授業態度 発問評価 学習課題集の提出 定期考査	指名音読 話し合い 調査とまとめ 発表・報告	リフレクションシート ポートフォリオ

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（単元）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 年間を通した学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標 (ねらい)	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
一 学 期	【短歌と俳句】 大切な言葉	・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。	我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方理解し、近現代を代表する歌人の作品を味わっている。		○		
		・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。			○		
		・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。	我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。	○			
		・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。	短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。			○	
		・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。	作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。			○	
	【古文入門】 古文の学習	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	○			
			我が国の言語文化の特質について理解している。	○			
		我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。		○			
		・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。	・これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。			○	
	【古文入門】 鳩と蟻のこと	・話の内容を口語訳で押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。	話の内容を口語訳で押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れている。		○		
		・『イソップ物語』の翻訳という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。	『イソップ物語』の翻訳という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、解釈している。		○		
		・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。			○		
		・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○			
		・主として歴史的仮名遣いについて、文語のきまりを理解する。	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。	○			
		・歴史的仮名遣いの読み方を積極的に理解し、繰り返し音読しようとしている。	歴史的仮名遣いの読み方を積極的に理解し、繰り返し音読しようとしている。			○	
・粘り強く口語訳と対照して説話の内容を捉え、学習課題に沿ってわかったことを伝え合おうとしている。					○		
	・描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点に立って読み解き、少年を中心に置いた小説の展開を捉える。	描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点に立って読み解き、少年を中心に置いた小説の		○			
	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉え			○			

<p>【詩の楽しみ】 道程（高村光太郎）</p>	<p>・近代詩の表現の技法とその効果について理解する。</p>	<p>我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p>	○			
	<p>・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</p>	<p>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</p>			○	
	<p>・詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。</p>	<p>詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。</p>			○	